



# 第43回東通村産業まつり

10月30日(日)、村体育館及び駐車場において第43回東通村産業まつりが行われました。

当日は少し肌寒い天候でしたが、お目当ての農林水産物等を手に入れようと、開始時間前から沢山の人が訪れていました。

開会セレモニーでは、越善靖夫村長の他、関係者が杵と臼で餅をつき、来場者につきたての餅が振る舞われました。

会場には産業振興公社、商工会の他、新そば・農業・水産など、各コーナーで自慢の産品を販売。威勢の良い呼び声飛びかき、新鮮で安い農林水産物を買求める人で賑わっていました。

水産コーナーでは、恒例の「サケのつかみ取り」「ミニミニ水族館」の他、「サケのちゃんちゃん焼き」が無料で振る舞われるなど、子供から大人までたくさんの方が楽しんでいました。特にサケのつかみ取りは、「子ども達にサケのつかみ取りを楽しんでもらいたい」との漁師さん達の思いから、村内各漁協のご好意により、サケ150本

が提供されました。

ステージでは、ポップスバンド「GEMMY PEAKS」や下北タツパダンスチーム「ジダンダーズ」、ジャズバンド「ピアニッシモ」による歌や演奏で会場を盛り上げました。

体育館内では、東通産の牛乳でのバター作り体験や木工教室が行われ、親子で楽しむ姿が見られました。また、電力コーナーでは、寒立馬育成チャリティー募金協力者にホットコーヒーのサービスがあり、来場者は温まりながら一休みしていました。

まつりを締めくくるビンゴゲームでは、出展者から提供された東通牛や野菜など豪華賞品を手に入れようと、大勢のお客さんに参加いただきました。番号が発表されるたびに一喜一憂し、会場は秋の寒さを吹き飛ばすほどの熱気に包まれていました。

最後には、お客さんに無料で大根がプレゼントされ、秋の稔りを祝う「産業まつり」は最後まで盛況となりました。



子ども達が元気にサケを追いかけたつかみ取りコーナー



越善村長の餅つきでまつり開始!